

柏原小学校 道徳科授業フランニングシート

① 内容項目

内容項目 (A-1)
 善悪の判断、自律、自由と責任

② 教材名

教材名
 『SL公園で』

③ 教師の道徳的価値観の
 明確化
 ※指導要領解説を参考に。

3年生の目標→正しいと判断したことは、自信をもって行うこと
 (概要より) 悪いことと知りながらも、周囲に流されたり、自分の弱さに負けたりしてしまうこともある。人から勧められた時にきっぱりと断ったり、正しくないと考えられることをしている人を止めたりできるように指導することが大切。
 ・自分が正しいと感じたことは、人に左右されることなく自らの判断を信じて行動する。
 ・また、その判断の理由は、怒られてしまうからという他律的、仲間外れにされてしまうからなどの社会的なものではなく、自律的な理由に基づいた行動ができるようになってほしい。

④ 児童の実態

3年生になり、善悪の判断とその理由を考えられるようになってきた。しかし、良いこと・悪いことを理解したうえで、正しい選択をすることができない場面が時々見られる。また、そのような状況に迫られることは今後増えていくだろうことが想定される。更に、自分は正しくないことをしないが、周りに正しくないことをしている友達がいっても我関せずという態度を取る児童もいる。

⑤ ねらい

(A) 正しくないことをしている友達を止めることは必要なかを考える活動	を通して
(B) 自分が正しいと判断を行い、正しくないとされることをしている人を止めることの難しさや大切さ、その良さ	について気付き、 (について考え)
(C) 正しいと判断したことは、自信をもって行おうとする	とする(判断力・ 心情・実践意欲・ 態度)を育てる。

⑥ 中心発問 ◎
 補助発問 ○
 児童の反応 ・

◎主人公は友達をとめる必要があったのだろうか。(多)
 →ある→・友達に悪いことをしてほしくないから。
 ・悪いことをしている友達をそのままにしておくことが正しいことだとは思わないから。
 ・悪いことをしているのを止めないで見てるのは、悪いことをしていることと同じこと。
 ・もしお姉さんにとめられなかったとしても、心がモヤモヤしたと思う。
 (補) 相手が誰であっても言えますか? 主人公は言えなかったよ?
 ・関係がこわれてしまうのは怖い…。でも正しくないことをしてほしくない。
 ・相手のために止めてあげたい。

⑦ 導入と終末を除いた展開部分の中心発問以下の発問

○誘われたときに考えた事
(だめだと判断した理由を掘り下げたい!!)

⑧ 導入

○友達から正しくないと思うことに誘われたらどうしますか。
・断る。 ・よくないと思いながらもしてしまう。
・自分もしないし、止めてあげる。
→止めることって必要なのかな？

⑨ 終末

○自己の振り返り(自)
・今日の一時間考えたことについて、これまでの自分を振り返るとどうでしたか。

※ 評価の視点を1時間の中に入れる。(自)自分事としてとらえる / (多)多面的・多角的

板書計画

よくないことになぜ誘われたら...
・「やめなよ」と止める。
・「つらいっしょにやっつけてしまうかも」
正しくないことをしている友だちを止めることは
本当にひつようなのだろうか。
SL公園で

SL挿絵
しんご
つよし
友だち

○登ろうとしなかったのはなぜか。
さくがあるから。 SLに乗るのは悪いこと。
落ちたらあぶない けがをしたら大へん
告げ口されておこられるかも

言いたかったけど言えなかった
みんなを見つめるしんご

なかよしの友だちに言いにくい。
友だちの楽しい気持ちをじゃましてしまう...
ゆう気が出ない...
もう遊べなくなってしまうたぎどうしよう

止められたらよかったのね。
正しいこと
女の人

SLには乗らなかった
正しいこと

◎友だちを止めることは本当にひつよう？
・悪いことをしてほしくな...
・友だちがけがをしてしまうのはいやだ。
・自分もみんなも正しいことをすると、楽しくなる。
・心がモヤモヤしたと思う。
相手がだれでも 何と言われても

授業後の振り返りやメモなど

Blank space for reflection and notes after the lesson.